

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	社会教育課			
	政策分野	子育て・教育	課長名	中里 千秋			
	施策	16 社会教育の充実	重点施策の該当	R2	-	R3	-
施策の目的	対象	市民	意図	生涯にわたって学び続け、生きがいに満ちた豊かな生活を送ることができる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和1年度実績値	令和2年度目標値	令和3年度目標値
今後の学習活動への取り組み意欲(%)	52.7	57.1	53.5	55.0	57.1 (64.0)	66.0

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		令和1年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績	
重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)	重要度(%)	満足度(%)
80.5	29.1	81.8	32.3	81.6	33.8	79.9	26.4		
重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI	重要度DI	満足度DI
77.8	16.0	81.1	18.4	79.6	16.5	78.1	8.7		

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時	指標の推移				最終目標値
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	1年度実績値	2年度実績値	3年度目標値
生涯学習機会の充実		市民講座受講生の満足度(%)	-	88.0	87.9	93.3	85.5 (82.5)	85.0
生涯学習機会の充実		市民講座修了生(7割出席)の割合(%)	62.0	69.8	53.6	78.5	68.6 (72.4)	75.0
社会教育団体の育成・支援		指導者等研修会の参加者数(人)	41	29	24	20	26 (50)	50
社会教育団体の育成・支援		各種団体や学級等の加入者数(人)	3,025	2,904	3,190	3,075	2,736 (3,045)	3,050
社会教育環境の充実		自己啓発のための講座、研修等への参加(%)	24.4	25.2	23.5	24.6	19.0 (37.0)	40.0
青少年の健全育成	11-27	補導件数(件)	12	10	3	0	0 (3)	0
青少年の健全育成		合同補導活動参加者数(人)	59	59	56	62	0 (60)	60
社会教育環境の充実		施設利用満足度(%)	-	52.8	46.6	47.2	44.0 (56.3)	60.0

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応
<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長から「基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等」が適宜発出され、イベント開催制限やイベント開催時に必要な感染防止対策について基準が示されたことから、本市の社会教育施設においても、その基準に沿った形で感染対策を講じてきた。(イベントの開催可否、会議室の人数制限、マスク着用、手指消毒、三密対策、検温、感染症アプリの導入、利用者カードの提出など)。令和3年度も引き続き、当面の間同様の対策を講じていくこととする。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響により、市民講座の開催を遅らせ、8月から12月までの3回程度として短期講座を開設した。参加者からは年間通しての長期講座より参加しやすかったとのご意見もあったことから、今後の開設については柔軟に対応していきたい。</p> <p>・老朽化している社会教育施設については、計画的な予防保全にシフトし延命化を図っていく。常に管理人と情報共有しながら施設の安全性には十分に配慮したうえで修繕等を行っていく。</p> <p>・青少年の健全育成については、全国的にスマホやSNS利活用に関する問題が山積している。本市においても関係団体と連携して環境浄化に努めながら非行防止への取組を進めていく。また、ふるさと自然や文化などを学び、異年齢で交流することで豊かな人間性・社会性を養うことを目的に引き続き、ふるさとまなび～隊体験活動を展開していく。</p> <p>・民法改正後の成人式の在り方については、市内対象者にアンケートを行い集約するとともに県内19市及び近隣町の動向を参考に検討していきたい。</p>

施策マネジメントシート ～令和2年度の振り返りから令和3年度の取組へ～

施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催可否については、その都度関係団体等のご意見を伺いながら慎重に協議を重ね判断してきた。最終的には、市民の皆様の安全安心を確保することが第一のことから、会議については書面決議での対応としたが、イベント等の多くは残念ながら実施することができなかった。 ・新型コロナウイルス臨時交付金を活用し、市民会館にオンライン会議等のスペース整備を行った。新しい生活様式を推進する中で、大人数での会議やイベントを実施することが困難になり、人との接触の機会が少ないオンライン会議等が今後求められることが想定される。 ・市民講座は8月から12月までの3回程度を開設した。参加者からは年間通しての長期講座よりは参加しやすかったとのご意見もあり、臨機応変に対応できた。 ・家庭教育支援事業は、各家庭教育学級に対し年間3万円の学級開設に伴う委託料を支給することで、各学級で創意工夫を凝らした充実した運営が展開された。また、今年度の家庭教育講演会は、市民会館会議室をオンライン化したことで、講師、会場(市民会館)、学校をリモートで結んでの新たな方法で開催することができた。 ・ふるさとまなび～隊開催事業は、小学3年生以上の児童を対象に、異年齢により自然や文化を活かした体験学習を実施している。今年度は、屋外活動とし人数を絞って年度途中から実施した。参加児童からは、「楽しかった。また参加したい。おうちに帰ってお父さんお母さんに話しをする」など、うれしい感想が多くみられた。平成30年度から毎月の活動ごとに参加者の募集をしたことで、小規模校や初めて参加するといった児童も増え充実した活動が展開できている。
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、社会教育事業の多くが実施できなかった。第4波の懸念もあり、なかなか先が見通せない状況にあるが、現段階では、令和3年度事業については感染対策を徹底したうえで実施していきたいと考えている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため引き続き、社会教育関係施設の感染対策を徹底していく。 ・成人式の在り方については、県内19市の社会教育課長会で引き続き協議していく。
今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の管理運営においては引き続き、新型コロナウイルス感染状況に注視しつつ、徹底した感染対策を行っていく(検温、利用者カードの提出、マスク着用、手指消毒、三密の回避、会議室収容人数の半数など)。 ・生涯各時期に応じた学習メニューを把握するため引き続きアンケートを実施し要望に応えられるようにする。また市民講座から自主講座への発展的な方策を検討していく。 ・社会教育関係団体の決算書等を参考に現状把握に努めるとともに、補助金の使途について精査していく。併せて、研修会等への参加要請をしながら指導者や後継者の人材育成を図る。 ・市民会館の絨り緞帳がうまく起動しないことから改修を行う。 ・成人式の開催については、県内19市及び近隣町の動向も参考にしながらも、法改正により影響を受ける市民がどう考えているか、意見を伺う必要もある。離島という環境の中、新成人にとって久しぶりに再会する成人式であることから、例えば「20歳を祝う会」などとして実施するのかがどうか検討していきたい。 ・ふるさとまなび～隊開催事業(年間計画10回実施)については、現状の募集体制を維持する。異年齢による自然体験や宿泊体験等を通して豊かな心とたくましく生きる力を育むこととする。 ・児童生徒のスマホやSNS依存による影響など、家庭教育学級においても議題として取り上げ情報共有していく。 ・市立図書館の充実を図っていく。 ・現有する社会教育施設の延命化を図っていく。なお、安全性・緊急性には十分に配慮しながら対応していく。

②-2 政策部会による振り返り(Check) (6月中旬に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	<p>【教育振興部会】</p> <p>○ 施策担当課が記載する方向性のとおり。</p>